

地域コミュニティが抱える課題とその原因・課題解決に向けた方向性・具体策・個々の役割（第１回・第２回で出た意見を集約）

（１）人材に関すること

課題／原因	めざす姿・課題解決の方向性	具体策	住民の役割	区・常会の役割	町の役割
担い手不足	多くの人が役を担える体制づくり				
①定年延長、勤務体系の多様化	多様な働き方等柔軟に対応できる体制づくり 負担軽減 持続可能な体制づくり 魅力ある地域づくり・行事	自主組織の形成（例：草刈り） 組の再編（平準化） 2常会から交互に役員を選出 複数常会での連携 数年先まで役員を決めておく パソコンを使えない人には、使える人がサポートを 会計システムなど共通システムの導入による負担軽減 若い方に受け入れられやすい役のメリットのアピール 役の見える化	自主組織への参画	自主組織立上げ支援 区・組の再編 複数区・常会での運営の検討 役員の選出 区・常会内でのサポート役の選出 広報	自主組織立上げ支援（経済的支援・育成支援） 再編支援（初期運営・事例提供） 研修会、支援者の派遣 共通システムの提案・導入 広報
②高齢化、高齢者のみ世帯の増加					
③人口減少・未加入者の増・後継者不足					
④負担の増大⇒（２）で検討					
⑤役員が毎年交代する（継続性に乏しい）					
⑥役員の固定化					
⑦無関心層の増					
女性をはじめ多様な人材の登用が進まない	多くの女性、若年層の参画				
①肉体労働や外での作業が多い	役割の明確化 女性・若年層が入りやすい雰囲気づくり 社会的風潮の意識改革	女性が無理なくできる仕組みづくり PTA や子育て、介護への配慮			
②女性・若者を疎外する住民意識					

(2) 区・常会の組織・運営に関すること

課題／原因		めざす姿・課題解決の方向性	具体策	住民の役割	区・常会の役割	町の役割
区・常会運営の負担が大きい		負担の分散と活動の合理化 区費以外の自主財源の確保				
運営・組織体制	①助け合い活動、環境整備活動、道路整備の需要増・事業の増加	魅力ある事業づくり 会議や事業の効率化 住民の認識を高める 負担軽減・負担の分散 役割分担・役職の分散 地域と行政の関係性の明確化 地域と行政の方向性の共有 地域の特性に応じた行政の支援 適切な情報発信と住民理解の促進 様々な情報伝達方法、情報共有 組織間の連携、理念の共有	行事・事業の整理 業務・活動の棚卸し 法的根拠のある職務と地域自治の職務を分ける 複数区合同で事務職員を雇用する 専門的な業務を外部委託や区民の中で募る 町職員のサポート(課長、係長クラス) 住民への情報提供 各区の事例紹介		活動・業務の棚卸し 自治会業務とその他の業務の明確化 複数区での協力体制の検討 一部事務・業務の委託、自主組織等への依頼	役割の明確化 町職員のサポート体制づくり 区の事例紹介
	②充て職の多さ・役員兼務長があらゆる窓口を担っている					
	③行政からの依頼が多い					
	④連絡体制が回覧板や文書のみ					
	⑤様々な組織が存在する					
社会情勢の変化	⑥空き地・遊休荒廃地・空き家の増加	財産の有効活用 管理方法の明確化 転入者・未加入者へ魅力を伝える 加入メリットの共有 新たなコミュニティと旧来のコミュニティの融合	防災訓練を活用した交流機会の確保 常設型資源ごみの回収ボックスの設置 ゴミ出しのルールが守られれば、衛生事務嘱託員の役割が減る	ゴミ出しのルールを守る	未加入者も含めた防災訓練の実施等減災対策の展開	常設型回収ボックスの設置
	⑦ゴミステーション等共有施設を非加入者も利用(不公平感)					
財政面	⑧区費、常会費の使い道への理解が得られない	自主財源の確保 身の丈にあった組織運営	区費の経費の見直し 税金と区費・常会費の見える化(違いを明確に) 公平性、受益者負担の明確化 ふるさと納税など区にお金を入れる仕組みづくり			
	⑨費用負担困難者の増加					
	⑩加入者減や減免による収入減					

